

# 第1学年英語科学習指導案

日 時 平成28年10月7日(金) 5校時  
学 級 1年3組(男子11名女子15名計26名)  
場 所 1年3組教室  
指導者 寺林 かや乃

## 1 単元名

PROGRAM 6 由紀のイギリス旅行

## 2 単元の目標

- (1) 第三者が主語になる場合の一般動詞の用法を正しく理解し、運用する。
- (2) イギリスの文化やロンドンの観光名所について理解を深める。

## 3 単元について

この単元では、教科書の中心人物の一人である由紀がイギリスへホームステイに行っている。ホストファミリーのジュディや彼女の友だちのマットの3人でロンドンの観光名所を回っている。3人の会話の中で使用されている、第三者が主語になる場合の平叙文、疑問文、応答文の学習を通して、新しい情報について説明したり聞き取ったりする力を高めていきたい。

### (1) 生徒観

小学校での外国語学習により英語に十分慣れ親しんできたこともあり、入学当初から聞く・話すなどの活動やペア活動・グループ活動などに積極的に取り組んでいる。教科書の音読や暗唱にも意欲的に取り組み、外国語指導助手との会話も楽しんで行なっている。

これまで、基本事項の定着をはかるため、音声面では「リズムで覚えよう」(自作のチャンツ)を通して活動を行ってきた。書くことについては、書くことに抵抗なく向かえるようにするために「ひたすらプリント」(書き取り練習プリント)に取り組ませてきている。

### (2) 指導観

本校では、「主体的に学ぶ生徒の育成—『学び合い活動』の工夫を通して」という研究主題を設定して授業を進めている。英語科の授業については、次のような工夫をしている。単語や英文の定着を図るために、リズムにのって学習に取り組む手法を用いて繰り返し行っている。そして、思考のプロセスを大切に主体的に学ばせるために、単元によって教科書の進め方を工夫している。授業の終末時には、学習の振り返りとして、既習事項を用いたペアによる発表を位置付けている。

本単元の指導については、一般動詞の三単現の指導に入る前に、「リズムで覚えよう」(自作のチャンツ)で重要文や語形変化に慣れさせておきたい。学習の手順としては、教科書のページに沿って進めるのではなく、基本文(Basic Dialog)のページを先に学習することによって、一般動詞の三単現について習熟を図ってから、本文内容の学習を連続性のあるものとして楽しませたい。

本時の指導については、一般動詞の三単現を含む英文を使って、グループ毎に第三者に関するクイズを作成したり解答させることを通して定着を図り、最後に、第三者についてペアで説明させたり書かせたりすることを通して単元のまとめとしたい。

4 単元の指導計画・評価規準（8時間扱い）

時間	学習活動	評価規準				評価の方法
		関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解	
1	・一般動詞三単現の肯定文の用法を理解する。		・第三者について紹介したり、説明したりすることができる。		・一般動詞三単現の肯定文の用法を理解し使用することができる。	・ワークシート ・観察
2	・一般動詞三単現の疑問文と応答文の仕方を理解する。		・第三者について疑問文やその応答文を用いて、説明できる。		・一般動詞三単現の疑問文やその応答文の用法を理解し、使用することができる。	・ワークシート ・観察
3	・一般動詞三単現の否定文の用法を理解する。		・第三者について否定文を用いて、説明できる。		・一般動詞三単現の否定文の用法を理解し使用することができる。	・ワークシート ・観察
4	・ロンドンの観光案内についての対話を読んで理解する。	・わからない語があっても、読み進めようとしている。			・イギリスの観光名所について知ることができる。	・観察
5	・ベイカーストリート駅構内での対話を読んで理解する。	・わからない語があっても、読み進めようとしている。			・二人の対話からベイカーストリート駅の特徴を知ることができる	・観察
6	・シャーロック・ホームズ博物館での対話を読んで、理解する。	・わからない語があっても、読み進めようとしている。			・三人の会話からシャーロック・ホームズについて理解できる。	・観察
7	・一般動詞三単現を含む文を用いて第三者について説明するクイズを作成する	・グループ内で協力して活動しようとしている。			・辞書等を用い、英文を作成することができる。	・ワークシート ・観察
8 (本時)	・一般動詞三単現を含む文を用いて、第三者について説明する		・第三者について、ペアで説明できる。	・他のグループの英文を聞いて、理解することができる。		・ワークシート ・観察

5 本時の指導

(1) 目標

- ・一般動詞三単現を用いた第三者についてのクイズを聞いて、誰についてのことが理解できる。
- ・一般動詞三単現を用いて、第三者について説明することができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (○教師の指導 ◎評価 ☆支援が必要な生徒への配慮)
つ か む  ( 8分 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォームアップを行う。</li> <li>・本時の学習課題を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌を歌う。(She Loves You)</li> <li>○「リズムで覚えよう」No.10, 11</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">三単現の S を使って、人について説明する。</div>		
見通す ( 2分 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の授業の流れを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般動詞三単現を含む文の構造の確認を行う。</li> </ul>
広げる 深める ( 20分 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ対抗で、第三者についてのクイズを出題する。(E)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ルールを確認する。(時間、進め方など)</li> <li>◎他のグループの発表を聞いて、考えることができる。</li> </ul>
振り 返 る ま と め る ( 20 分 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで、異なる第三者について説明する。(A)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ペアで協力して、異なる第三者についての 説明文を作らせ、教師の前で発表させる。</li> <li>→発表のあとは、ペアで用紙に書かせ掲示する。</li> <li>→各自シートに書かせる。(回収して点検する)</li> <li>☆書くことが難しい生徒については、ヒントを与え、ペアで協力して取り組むよう指示する。</li> <li>○家庭学習(異なる第三者についての英文を書く)の指示をする。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○次時の学習内容の確認をする。</li> </ul>